

# 奄美大島ミナミハンドウイルカ国内初発見50周年記念シンポジウム

## 見たい！知りたい！泳ぎたい！～ご近所イルカの謎に迫る～

開催日時：2024年12月8日（日曜日）17:00～19:20

開催場所：瀬戸内町きゅら島交流館大ホール

主催：奄美海洋生物研究会

共催：環境省 奄美群島国立公園管理事務所・奄美クジラ・イルカ協会

（開催目的）

奄美大島沿岸に生息するミナミハンドウイルカやドルフィンスイム暫定自主ルールについて、行政職員、地域住民、観光事業者に広く発信し、理解と協力を得ることを目的とする。併せて、ミナミハンドウイルカに関わりの深い専門家4名から講演いただき、ミナミハンドウイルカへの理解を深め、奄美大島におけるミナミハンドウイルカの保全やドルフィンスイムの目指すべきあり方等について考える。

（シンポジウム）

17:00～17:05 開会挨拶：奄美群島国立公園管理事務所 所長 広野 行男

17:05～17:25 趣旨説明・講演1

「奄美大島におけるドルフィンスイムの現状と課題」

奄美海洋生物研究会 会長 興 克樹

奄美大島におけるミナミハンドウイルカの出現状況や、水中撮影データによる個体識別、ドルフィンスイム実施状況、暫定自主ルールの評価調査結果について紹介します。

17:25～17:45 講演2

「奄美海域のミナミハンドウイルカと沖縄での飼育研究：50年の歩み」

一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 動物研究室 主任研究員 小林 希実

1974年に奄美大島近海で捕獲された後、沖縄美ら海水族館に輸送、飼育され来年で50周年を迎える「オキちゃん」等のミナミハンドウイルカについて、輸送時や飼育中、研究にまつわるエピソードをご紹介します。また、奄美クジラ・イルカ協会や三重大学の方々と共同で実施している奄美海域でのミナミハンドウイルカの調査についても、その成果と苦労などを交えてご紹介します。

17:45～18:05 講演3

「鹿児島島のミナミハンドウイルカ。奄美と錦江湾」

いおワールド かごしま水族館 展示第一課 魚類展示係 学芸員 柏木 伸幸

鹿児島では奄美と錦江湾でミナミハンドウイルカに会うことができます。かごしま水族館では錦江湾のミナミハンドウイルカの調査を20年以上続けています。これまでの調査で分かった錦江湾のイルカの最新情報を紹介します。

18:05-18:15 休憩

18:15-18:35 講演4

「御蔵島：科学的調査に基づくイルカウォッチングの運営と管理」

御蔵島観光協会 前事務局長 小木 万布

御蔵島でイルカと泳ぐツアーが始まって約30年。当初からイルカの保護を目的に、様々な取り組みがされてきました。なにか問題に行き当たった時、島ではいつも大切にされていた原理があります。そのあたりのことをお話しします。

18:35-18:55 講演5

「イルカまつわるQ&A」

三重大学大学院 教授 森阪 匡通

いろんな方から何気なくいただく質問は、かなり本質をついていて、びっくりします。これまで聞かれた質問を中心にイルカの基礎情報をQ&A方式でお話しします。

18:55～19:15 総合討論

19:15～19:20 閉会挨拶 奄美クジラ・イルカ協会 会長 興 克樹

閉会

※本シンポジウムは環境省「奄美群島国立公園奄美大島海域におけるミナミハンドウイルカ調査等業務」の一環で開催します。